

2021年
10月

県内景況・確報

◎概況 県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により復調の動きが依然停滞し、厳しい状況にある。

●2021年10月 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや悪い

個人消費



やや悪い

建設関連



ふつう

観光関連



悪い

企業倒産



やや良い

雇用状況



やや悪い

10月の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を下回り、建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

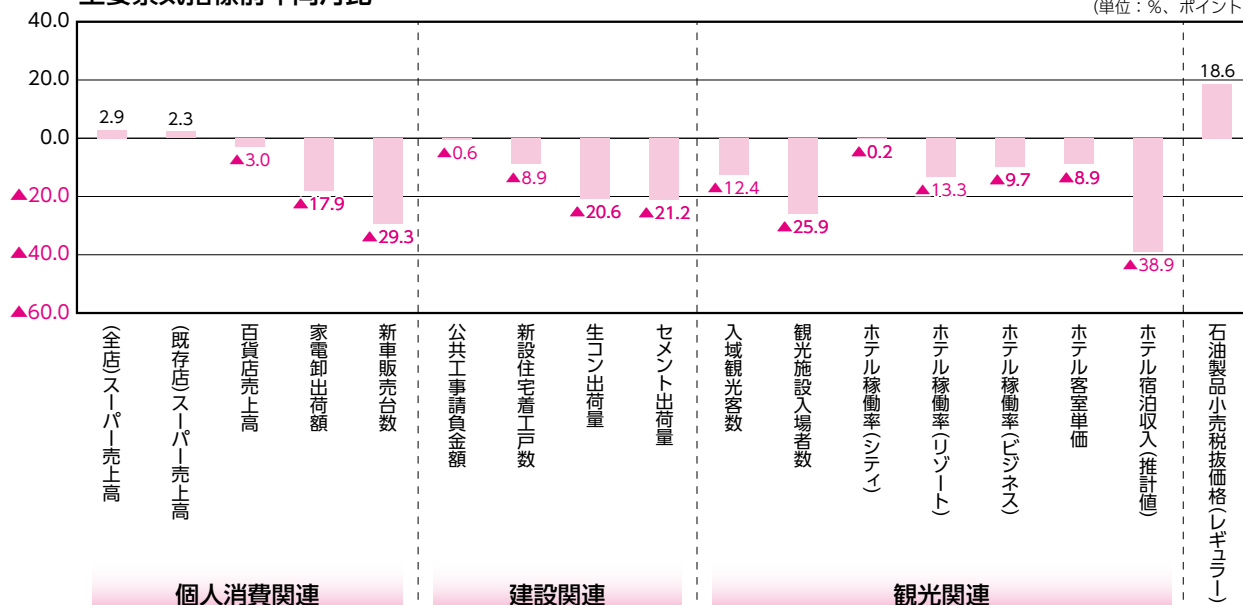
観光関連では、入域観光客数は前年同月を下回り、観光施設入場者数においても前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回りました。ホテル客室単価、宿泊収入（推計値）においても前年同月を下回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は緊急事態宣言解除に伴う客足の戻りがあるものの供給不足などにより弱さが見られ、建設関連は民間工事に弱い動きが続いています。観光関連は行動制限の緩和措置があったものの、入域観光客数の減少など、依然として厳しい状況にあります。よって、「**県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により復調の動きが依然停滞し、厳しい状況にある**」と景気判断を据え置きました。

(2021年2月の下方修正から9ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位：％、ポイント)





個人消費



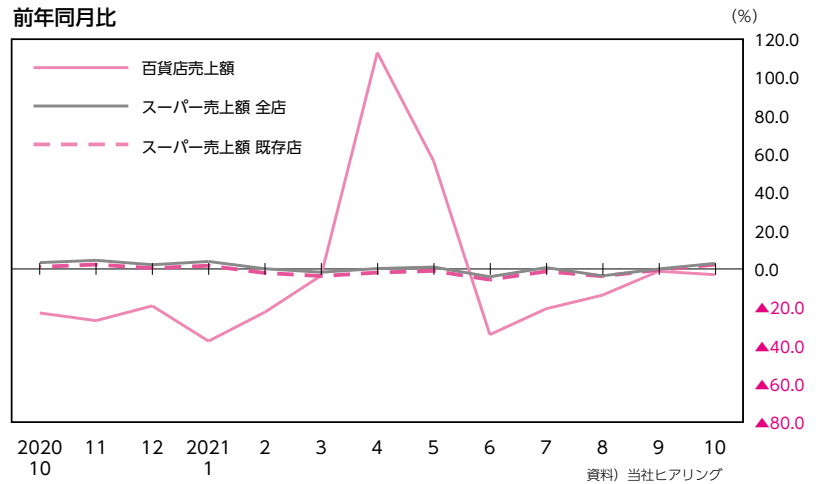
(やや悪い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を下回る。

10月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース（前年同月比2.9%増）」は、緊急事態宣言解除により来店客数が増加し、前年同月を上回りました。品目別では、「家庭用品（同6.0%増）」は前年同月を上回りました。「食料品（同2.6%増）」は緊急事態宣言解除後も内食需要が一定数あることにより2ヵ月連続で前年同月を上回りました。「衣料品（同0.0%）」は前年同月並みとなりました。

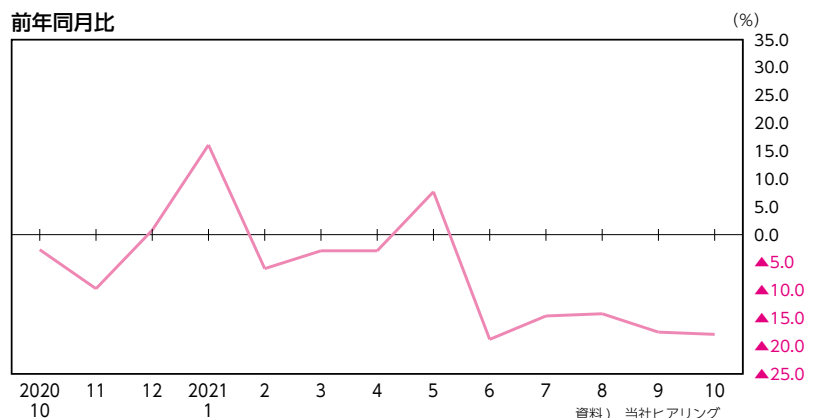
「既存店ベース（同2.3%増）」は、9ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同1.9%増）」は、緊急事態宣言解除後も一定の内食需要があり、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品（同3.6%増）」は緊急事態宣言解除後、来店客数が増加したことなどにより前年同月を上回りました。一方、「衣料品（同0.9%減）」は前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、前年同月を下回りました（同3.0%減）。内訳をみると、「食料品（同3.0%増）」は2ヵ月連続で前年同月を上回りました。ウェイトの高い「衣料品（同9.8%増）」は、緊急事態宣言解除後、催事の実施やポイント還元企画により「婦人服（同16.2%増）」、「紳士服（同9.8%増）」などを中心に伸び、5ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。一方、「雑貨（同29.6%減）」、「家庭用品（同15.6%減）」は、売り場面積の減少（テナント化）があり、前年同月を下回ったことから、全体としては5ヵ月連続で前年同月を下回りました。



② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は5ヵ月連続で前年同月を下回る。

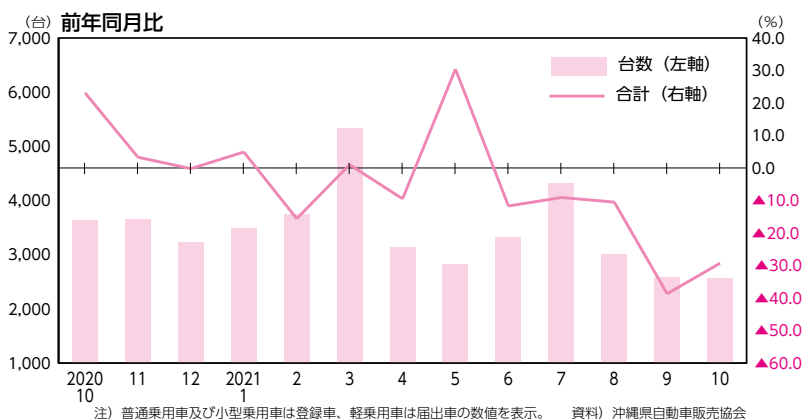
家電卸出荷額は、5ヵ月連続で前年同月を下回りました（同17.9%減）。品目別では、「エアコン（同16.9%減）」、「テレビ（同26.0%減）」や「洗濯機（同17.6%減）」、「冷蔵庫（同14.8%減）」は、世界的な半導体不足の影響や生産を行う東南アジア工場のロックダウンが続いていることによる部品不足などから、前年同月を下回りました。



③ 新車販売台数…新車販売台数は、5ヵ月連続で前年同月を下回る。

新車販売台数は、全体で2,561台（同29.3%減）となり、5ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「小型乗用車（同9.7%減）」や「普通乗用車（同20.1%減）」、「軽乗用車（同40.4%減）」において、世界的な半導体不足やコロナウイルスの感染拡大により東南アジア部品工場の閉鎖が継続したため、生産が減少し、前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



建設関連

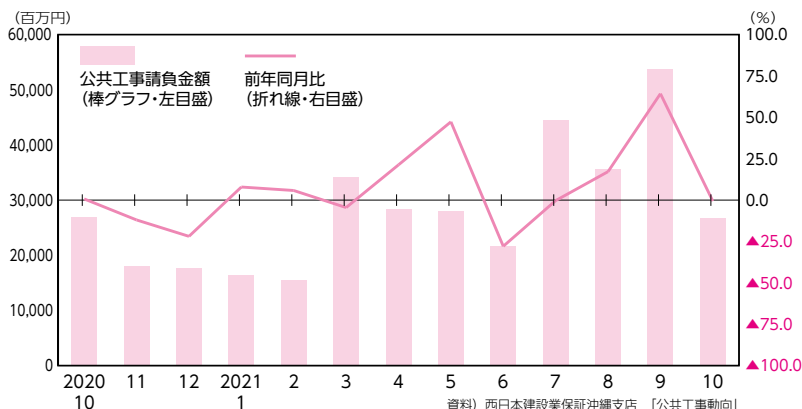


(ふつう)

① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

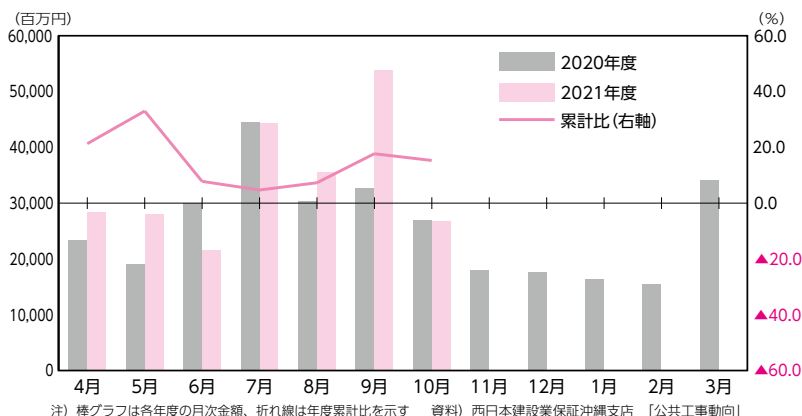
10月の公共工事請負金額は、前年同月比0.6%減の267億2,100万円となりました（3ヵ月ぶり減）。

発注者別でみると、「沖縄県（同19.2%減）」や「市町村（同13.0%減）」、「独立行政法人等（同63.0%減）」は前年同月を下回りました。一方、「国（同50.1%増）」や「その他の公共的団体（同55.8%増）」は前年同月を上回りました。



【参考】公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

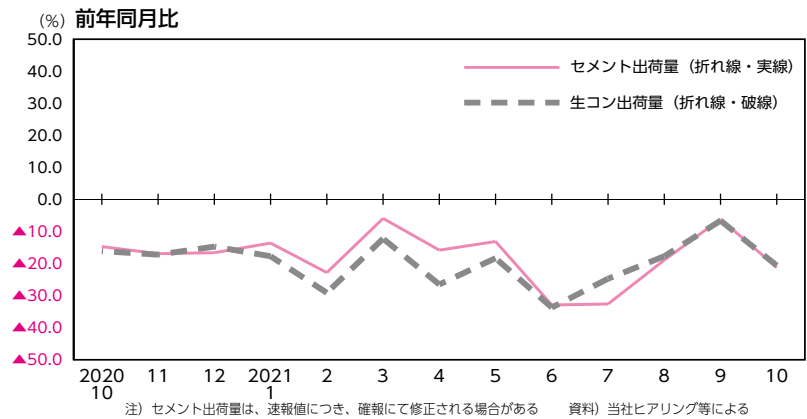
今年度累計値では15.3%増となっております。





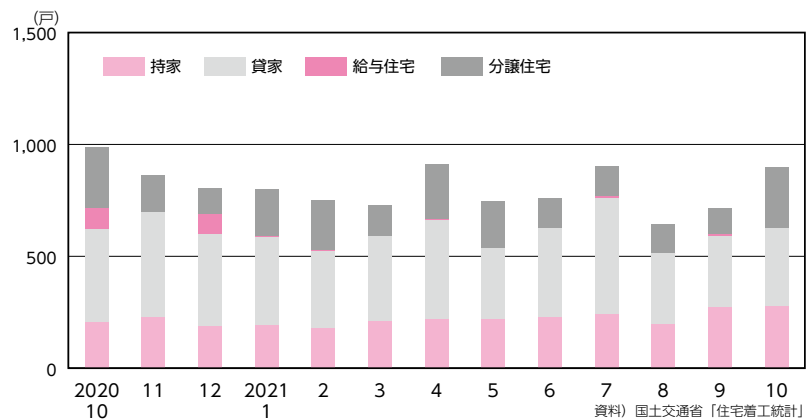
② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

建設資材関連では、**生コン**の出荷量は20.6%減と21ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、防衛関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より27.0%下回り、民間工事向けは、ホテル関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より16.8%下回りました。**セメント**出荷量は21.2%減と16ヵ月連続で前年同月を下回りました。



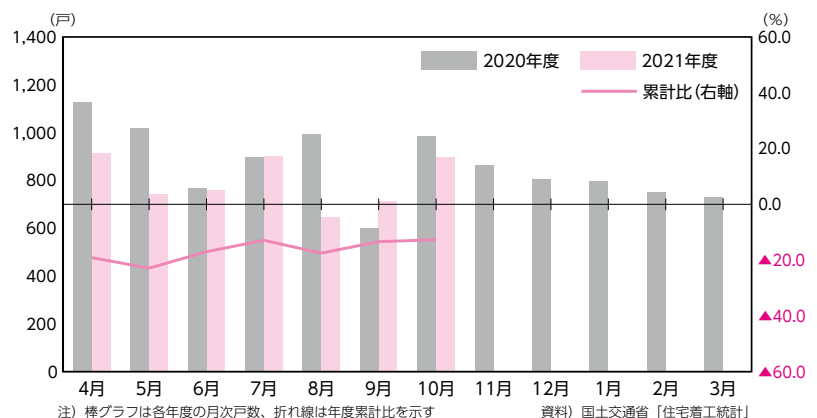
③ 住宅投資…着工戸数は前年同月を下回る。

10月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比8.9%減の897戸となり、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「給与住宅（同98.9%減）」や「貸家（同16.5%減）」は前年同月を下回りました。一方、「持家（同35.5%増）」や「分譲住宅（同0.7%増）」は前年同月を上回りました。



【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を下回る。

今年度累計値では、12.7%減となっています。

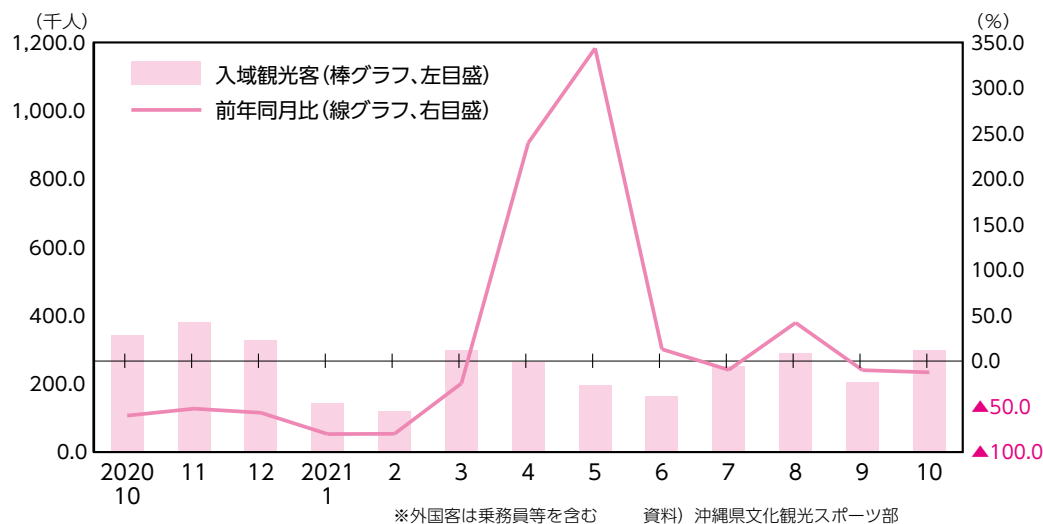


観光関連

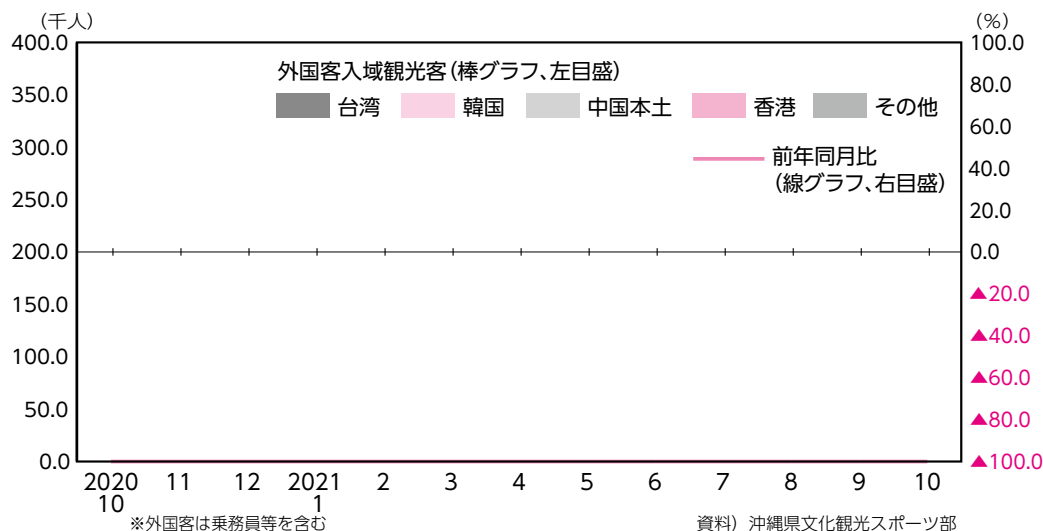


(悪い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…2ヵ月連続で前年同月を下回る。



外国客 入域観光客数…前年同月同様、皆減。



10月の入域観光客数は、42,200人少ない299,000人（前年同月比12.4%減）となり、2ヵ月連続で前年同月を下回りました。Go Toトラベル事業が一時停止されていることや、航空路線での運休・減便が継続されていることなどから、前年同月を下回りました。また前々年（2019年）同月比では552,300人減少（約64.9%減）と大きく下回っており、依然として厳しい状況となっています。

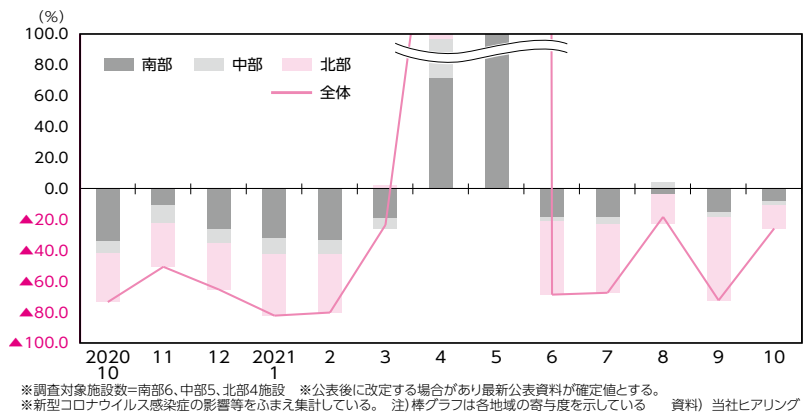
外国客入域観光客数は、前年同月同様、皆減となりました。台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から日本への入国制限措置が継続しており、引き続き厳しい状況が続くと予想されます。



② 観光施設入場者数…5ヵ月連続で前年同月を下回る。

観光施設入場者数は、全体では25.9%減となり、5ヵ月連続で前年同月を下回りました。緊急事態宣言が解除されたものの、行動制限の段階的緩和措置がとられたことから、客足が停滞しました。一方、一部のマリンレジャー施設においては、軽石漂着による影響が発生しました。地域別では、南部の観光施設は28.1%減、中部は24.2%減、北部は25.1%減となりました。

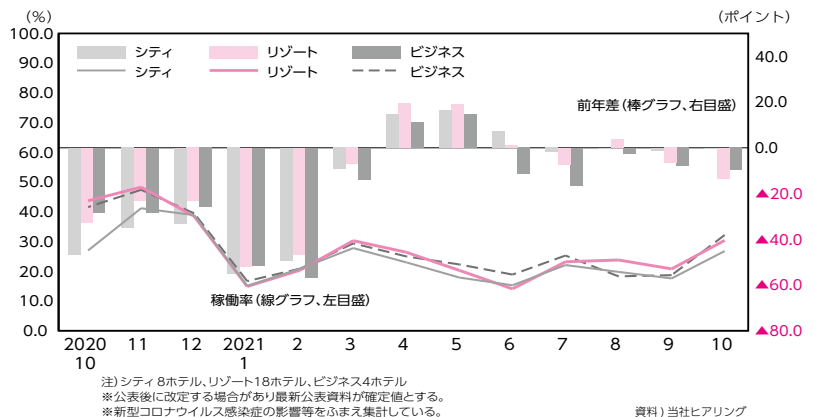
(参考) 前々年(2019年)比では、全体で80.3%の減少となります。内訳では南部にある観光施設は86.8%減少、中部は81.6%減少、北部は74.5%の減少となっています。



③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルすべてにおいて前年同月を下回る。

県内ホテル稼働率は、緊急事態宣言が解除され、個人顧客を中心として宿泊需要が回復傾向となるものの、前年度のようにGo Toキャンペーン開催はなく、前年同月を下回りました。シティホテルは26.8%と前年同月比0.2ポイント減少、リゾートホテルは30.4%と13.3ポイント減少、ビジネスホテルは32.2%と9.7ポイント減少しました。

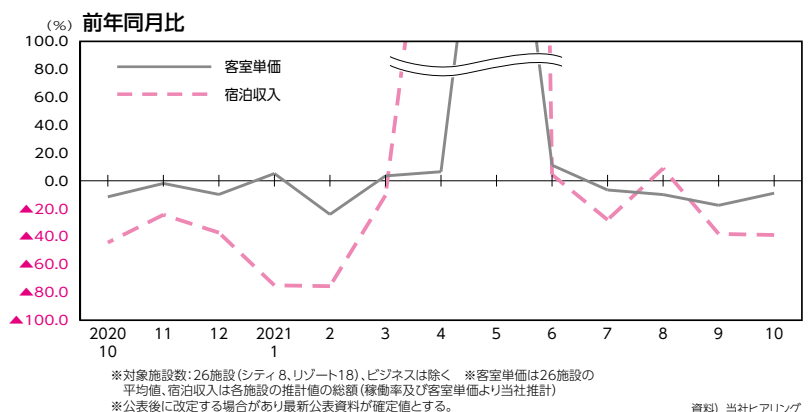
(参考) 前々年(2019年)比では、シティホテルは46.8ポイントの減少、リゾートホテルは46.0ポイントの減少、ビジネスホテルは37.8ポイントの減少となっています。



④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価、宿泊収入ともに前年同月を下回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月より8.9%減と4ヵ月連続の減少となりました。**宿泊収入**においては38.9%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。

(参考) 前々年(2019年)比では、客室単価は19.4%の減少、客室収入は65.9%の減少となっています。





企業倒産

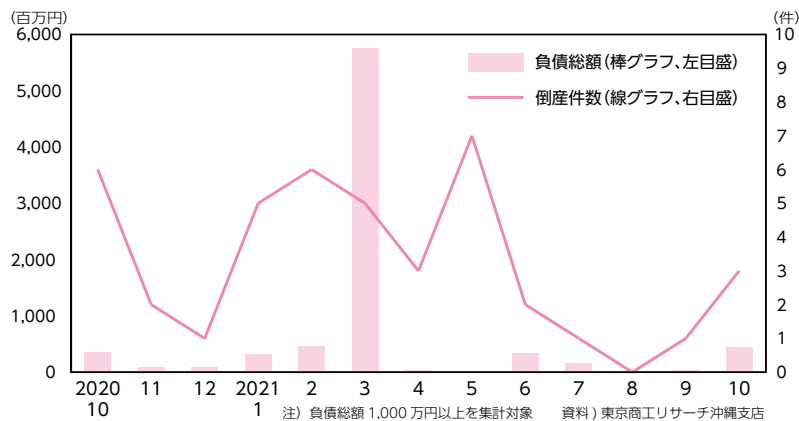


(やや良い)

企業倒産…件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。

10月の企業倒産件数は、3件（うち大口倒産は1件）となり、前年同月より50.0%下回りました。

負債総額は4億3,400万円となり、前年同月より20.6%上回りました。



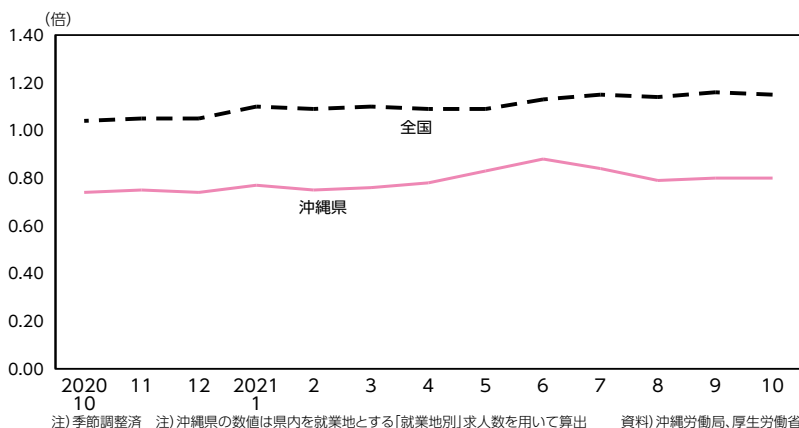
雇用関連



(やや悪い)

① 有効求人倍率…沖縄は前月と同水準、全国は低下。

10月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比0.3%増の25,798人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比0.1%減の32,200人となり、**有効求人倍率（季節調整値）**は0.80倍と、前月と同水準となりました。



② 完全失業率…沖縄、全国はともに前月より低下。

10月の完全失業率（季節調整値）は、2.4%となり前月より0.8ポイント低下しました。

